

令和7年度 山梨県下水道施設における  
ウォーターPPPの導入に向けた  
マーケットサウンディング（民間市場調査）

結果概要

◎本事業におけるマーケットサウンディング調査について

本県においてウォーターPPPの導入検討にあたり、民間企業の皆様の参入意向や事業内容等に対する考えを把握するため、マーケットサウンディング（民間市場調査）を実施することとしました。

令和8年3月

山梨県

## 1. マーケットサウンディングの実施概要

### 1.1. サウンディング調査の内容

本県におけるウォーターPPPの導入検討にあたり、民間企業の参入意向や事業内容等に対する考えを把握するため、下記の要領でマーケットサウンディング（民間市場調査）を実施しました。

#### (1) アンケート調査(調査票)

##### 【設問】

1. 本事業への参入形態・参入意欲について
2. 本県及び本県以外での業務実績について
3. ウォーターPPPの対象とする施設・業務について
4. 対象処理区（流域下水道、流域関連公共下水道）選定について
5. 官民連携手法について
6. ウォーターPPP（レベル3.5）の4要件に関する課題・ご意見等
7. ウォーターPPPの広域化・共同化に対するご意見
8. その他ご意見等について

### 1.2. マーケットサウンディングの実施概要

#### (1) 名称

令和7年度 山梨県下水道施設におけるウォーターPPPの導入に向けたマーケットサウンディング（民間市場調査）

#### (2) マーケットサウンディング調査の実施期間

令和7年12月1日～令和7年12月19日（金曜日）まで

#### (3) マーケットサウンディング参加者

ヒアリング協力者は、県内、県外で分類した結果を図1-1に示します。県内企業10社、県外企業31社の合計41社となりました。

また、企業の業種について、「調査・設計」、「維持管理」、「メーカー」、「建設」、「その他」に分類した結果を図1-2に示します。図1-2に示した通り、県内企業参加10社の内訳は「維持管理」8社、「調査・設計」2社であり、県外企業参加31社の内訳は「維持管理」7社、「調査・設計」6社、「メーカー」10社、「建設」3社、「その他」5社となりました。

## アンケート回答数（地域別）

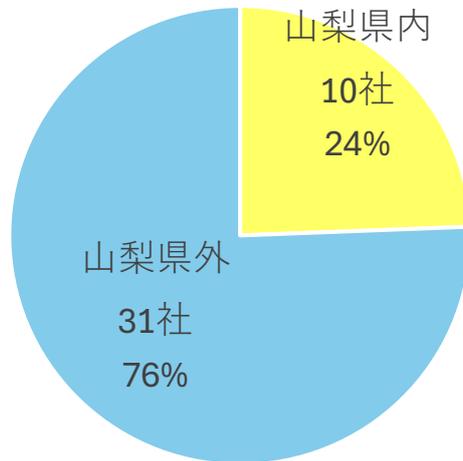


図1-1 民間事業者業者所在地区分

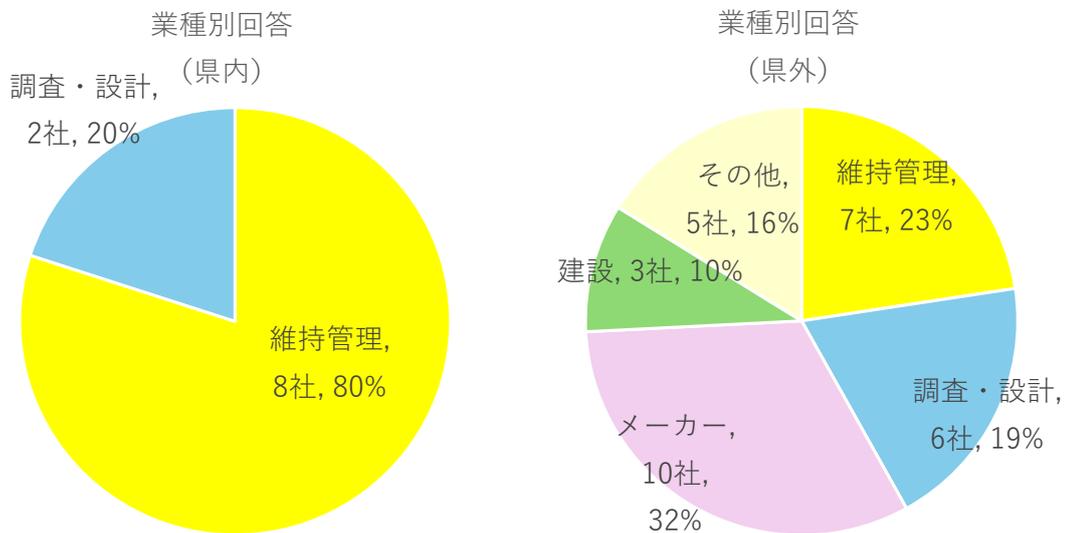
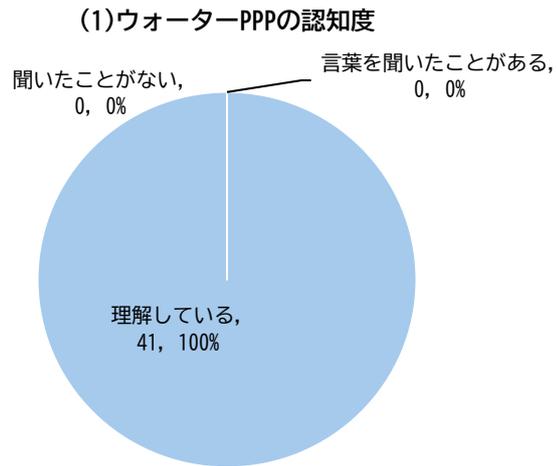


図1-2 民間事業者業種区分（左：県内、右：県外）

**【質問 1.】 本事業への参入形態・参入意欲について**

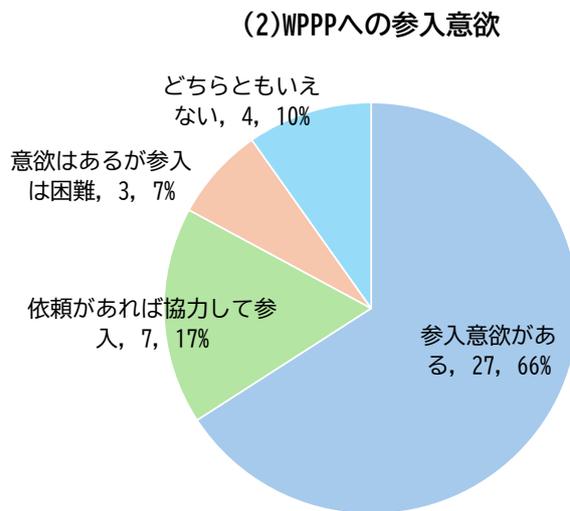
(4) ウォーターPPP の認知度

ウォーターPPP の認知度についてお聞かせください。



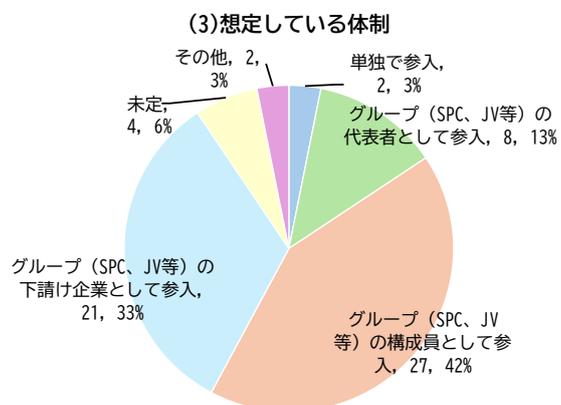
(5) 山梨県のウォーターPPP 事業への参入意欲

本県のウォーターPPP への参入意欲についてお聞かせください。



(6) 想定している体制

本県のウォーターPPPへ参入する場合に貴社が想定している体制についてお聞かせください。(複数回答可)



(7) ウォーターPPP 事業へ参入する場合に想定している業務内容

本県のウォーターPPP へ参入する場合に貴社が担当を想定している業務内容についてお聞かせください。(複数回答可)

流域下水道

項目			調査・設計	維持管理	メーカー	建設	その他	合計
大分類	中分類	小分類						
全体	統括管理	統括管理業務	2	6	1	2	1	12
施設 (処理場)	計画策定	更新計画案(SM)の作成	5	0	4	1	1	11
		事業計画案の作成	5	0	2	0	1	8
	維持管理	運転監視操作	0	7	1	2	0	10
		設備の保守点検	0	7	1	2	1	11
		ユーティリティ調達・管理	0	7	1	2	0	10
		水質管理	0	7	1	2	0	10
		施設の小修繕	0	7	4	2	2	15
		場内美化	0	7	1	2	0	10
汚泥/し渣の収集・運搬・処理処分	0	4	0	2	0	6		
施設 (ポンプ場、MP)	計画策定	更新計画案(SM)の作成	6	0	4	1	1	12
		事業計画案の作成	6	0	2	0	1	9
	維持管理	運転監視操作	0	7	1	2	0	10
		設備の保守点検	0	7	1	2	1	11
		ユーティリティ調達・管理	0	7	1	2	0	10
		施設の小修繕	0	8	4	2	2	16
		場内美化	0	7	1	2	0	10
		汚泥/し渣の収集・運搬・処理処分	0	4	0	2	0	6
管路	計画策定	更新計画案(SM)の作成	6	3	1	0	1	11
	維持管理	幹線管渠、MH(本体、蓋)の保守点検	0	10	0	0	0	10
		幹線管渠、MH(本体、蓋)の清掃	0	9	0	0	0	9
		幹線管渠、MH(本体、蓋)の小規模修繕等(調査時に実施)	0	9	0	0	0	9
		幹線管渠、MH(本体、蓋)の小規模改築(調査後に実施)	0	8	0	0	0	8
その他	施設情報管	ホームページ保守	1	2	0	1	0	4
		施設台帳の整備 <sup>注1)</sup>	4	4	2	2	1	13
	事業者対応	継続占用協議関係業務補助	0	0	0	0	0	0
		固定資産、台帳の管理の補助業務	0	3	0	0	0	3
	緊急対応業	異常時・緊急時の現場での対応	0	10	1	1	2	14
	災害対応	災害時の対応	2	9	1	1	2	15
	普及啓発業	施設見学対応	0	5	2	2	0	9
		下水道体験教室・出前教室	0	5	2	2	0	9
		下水道ポスターコンクール	0	3	2	0	0	5
		技術者の教養(講師派遣等)	1	4	2	0	0	7
住民対応	苦情対応等	0	3	1	1	0	5	
合計			38	179	44	40	17	318

流域関連公共下水道

項目			調査・設計	維持管理	メーカー	建設	その他	合計
大分類	中分類	小分類						
全体	統括管理	統括管理業務	2	5	1	0	1	9
施設 (MP)	計画策定	更新計画案(SM)の作成	8	0	2	1	1	12
		事業計画案の作成	8	0	1	0	1	10
	維持管理	設備の保守点検	0	6	2	1	1	10
管路	計画策定	更新計画案(SM)の作成	8	3	0	0	1	12
	維持管理	幹線管渠、MH(本体、蓋)の保守点検	0	10	0	0	0	10
		幹線管渠、MH(本体、蓋)の清掃	0	9	0	0	0	9
		幹線管渠、MH(本体、蓋)の小規模修繕等(調査時に実施)	0	9	0	0	0	9
その他	施設情報管	施設台帳の整備 <sup>注2)</sup>	26	42	6	2	5	81

(8) ウォーターPPP 事業へ参入する際の懸念点・不安点

本県では、ウォーターPPP の導入を検討しているところですが、貴社が参入する際または参入の検討する際における懸念点や不安点についてお聞かせください。

1) 主な意見等（共通事項）

選択肢	調査・設計	維持管理	メーカー	建設	その他	合計
プロポーザル等の提案書準備期間が十分確保されるか懸念がある。	2	12	4	2	2	22
プロポーザル等の不慣れな入札方式への対応が不安。	2	9	2	0	0	13
事業実施のための人員を確保できない。	2	5	4	2	2	15
グループ企業を構成したり、構成員になることが困難。	2	1	3	2	1	9
中小企業や市内業者との連携が不安。	5	3	5	3	1	17
ウォーターPPPの対象施設や業務範囲によっては、ノウハウ不足などの懸念がある。	4	9	6	3	2	24
入札要件に不安がある。（厳しい条件になりすぎないか等）	7	10	2	3	3	25
段階的に参入予定の流域関連公共下水道の影響が未知数。	4	7	3	2	3	19
契約スキームに関する情報が不足している。	2	5	3	3	3	16
その他	1	2	2	1	1	7
合計	31	63	34	21	18	167

2) 主な意見等（流域下水道）

選択肢	調査・設計	維持管理	メーカー	建設	その他	合計
事業規模が過大であると考えられる。	2	7	2	0	0	11
事業規模が過小であると考えられる。	0	0	0	0	0	0
大規模企業との連携が不安。	1	8	1	0	0	10
現在の運転管理や維持管理に関する情報が不足している。	2	7	7	3	4	23
業務範囲に対して詳細な情報が不足している。	2	10	6	3	3	24
官民のリスク分担に関する情報が不足している。	2	11	4	3	4	24
現時点では意思決定の判断材料となる情報が不足している。	2	2	2	2	2	10
その他	1	0	0	1	1	3
合計	12	45	22	12	14	105

### 3) 主な意見等（流域関連公共下水道）

選択肢	調査・設計	維持管理	メーカー	建設	その他	合計
事業規模が過大であると考えられる。	2	5	2	0	0	9
事業規模が過小であると考えられる。	0	0	0	0	0	0
大規模企業との連携が不安。	1	7	0	0	0	8
現在の運転管理や維持管理に関する情報が不足している。	3	9	6	3	4	25
業務範囲に対して詳細な情報が不足している。	3	9	6	3	3	24
官民のリスク分担に関する情報が不足している。	4	10	4	3	4	25
現時点では意思決定の判断材料となる情報が不足している。	4	3	2	2	2	13
その他	1	1	0	0	1	3
合計	18	44	20	11	14	107

**【質問 2.】本県及び本県以外での業務実績について**

事業者として担当した（担当予定であった）業務について、ご回答ください。（複数回答可）

(1) 本県及び本県以外での業務実績（施設別集計）

選択肢	調査・設計	維持管理	メーカー	建設	その他	合計
処理場・ポンプ場等の施設	4	8	8	3	2	25
管路施設	6	10	1	1	2	20
合計	10	18	9	4	4	45

(2) 本県及び本県以外での業務実績（業務別集計：処理場・ポンプ場）

選択肢	SPCまたはJVとして受注						自社で対応					
	調査・設計	維持管理	メーカー	建設	その他	合計	調査・設計	維持管理	メーカー	建設	その他	合計
統括管理業務	2	4	4	2	1	13	2	4	3	1	1	11
更新計画案（SM）の作成	2	2	3	2	1	10	3	0	2	1	1	7
事業計画案の作成	2	1	2	2	1	8	2	0	1	1	1	5
運転監視操作	2	4	4	2	1	13	0	6	4	0	0	10
設備の保守点検	2	4	4	2	1	13	0	6	4	0	1	11
ユーティリティ調達・管理	2	4	4	2	1	13	0	6	4	0	1	11
水質管理	2	4	4	2	1	13	0	6	4	0	0	10
施設の小修繕	2	4	4	2	1	13	0	6	6	1	1	14
場内美化	2	4	4	2	1	13	0	6	3	0	1	10
汚泥/し渣の収集・運搬・処理処分	2	2	2	2	0	8	0	3	1	0	0	4
更新計画案（SM）の作成	2	2	3	2	1	10	4	1	3	1	1	10
事業計画案の作成	2	1	2	2	1	8	2	0	1	1	1	5
運転監視操作	2	3	3	2	1	11	0	6	3	0	0	9
設備の保守点検	2	3	3	2	1	11	0	6	4	0	1	11
ユーティリティ調達・管理	2	3	3	2	1	11	0	6	3	0	1	10
施設の小修繕	2	3	3	2	1	11	0	6	5	1	1	13
場内美化	2	3	3	2	1	11	0	6	3	0	1	10
汚泥/し渣の収集・運搬・処理処分	2	2	2	2	0	8	0	2	1	0	0	3
ホームページ保守	1	3	1	1	1	7	1	2	0	1	1	5
施設台帳の整備	2	2	3	2	1	10	2	2	3	1	1	9
継続占用協議関係業務補助	1	2	1	0	0	4	0	0	0	0	0	0
固定資産、台帳の管理の補助業務	1	2	1	1	1	6	0	3	0	1	1	5
異常時・緊急時の現場での対応	2	3	4	1	1	11	0	7	4	1	2	14
災害時の対応	2	4	4	1	1	12	2	6	4	1	2	15
施設見学対応	1	3	4	2	1	11	0	6	4	1	1	12
下水道体験教室・出前教室	1	2	1	2	1	7	0	4	2	1	1	8
下水道ポスターコンクール	1	0	1	1	1	4	0	0	1	0	1	2
技術者の教養（講師派遣等）	2	1	1	1	0	5	1	3	2	0	0	6
苦情対応等	2	2	2	1	1	8	0	2	2	1	1	6
合計	52	77	80	49	25	283	19	111	77	15	24	246

(3) 本県及び本県以外での業務実績（業務別集計：管路施設）

選択肢	SPCまたはJVとして受注						自社で対応					
	調査・設計	維持管理	メーカー	建設	その他	合計	調査・設計	維持管理	メーカー	建設	その他	合計
統括管理業務	3	3	0	0	1	7	2	3	0	0	1	6
更新計画案（SM）の作成	2	2	0	0	1	5	6	1	0	0	1	8
幹線管渠、MH(本体、蓋)の保守点検	2	7	0	0	1	10	0	7	0	0	1	8
幹線管渠、MH(本体、蓋)の清掃	2	7	0	0	1	10	0	6	0	0	1	7
幹線管渠、MH(本体、蓋)の小規模修繕等（調査時に実施）	2	6	0	0	1	9	0	6	0	0	1	7
幹線管渠、MH(本体、蓋)の小規模改築（調査後に実施）	2	5	0	0	1	8	0	4	0	0	0	4
ホームページ保守	1	1	0	0	1	3	1	0	0	0	1	2
施設台帳の整備	3	1	0	0	1	5	4	1	0	0	1	6
継続占用協議関係業務補助	1	2	0	0	0	3	0	1	0	0	0	1
固定資産、台帳の管理の補助業務	1	2	0	0	1	4	1	1	0	0	1	3
異常時・緊急時の現場での対応	2	5	0	0	1	8	1	4	0	0	1	6
災害時の対応	2	5	0	0	1	8	2	5	0	0	1	8
下水道体験教室・出前教室	1	1	0	0	1	3	0	1	0	0	1	2
下水道ポスターコンクール	1	0	0	0	1	2	0	0	0	0	1	1
技術者の教養（講師派遣等）	2	1	0	0	0	3	0	1	0	0	0	1
苦情対応等	2	4	0	0	1	7	0	2	0	0	1	3
合計	29	52	0	0	14	95	17	43	0	0	13	73

### 【質問 3.】 ウォーターPPPの対象とする施設・業務について

#### (1) 事業の対象として望ましいと考えられる施設

事業の対象として望ましいと考えられる施設について、ご意見をお聞かせください。  
(複数回答可)

選択肢	(1) 事業の対象として望ましいと考えられる施設					
	調査・設計	維持管理	メーカー	建設	その他	合計
下水管路（管渠、MH：本体、蓋）、マンホールポンプのみ	3	7	2	0	1	13
下水管路（管渠、MH：本体、蓋）+下水処理場	2	1	1	1	1	6
下水管路（管渠、MH：本体、蓋）+下水ポンプ場	2	1	1	1	0	5
下水処理場+下水ポンプ場	5	7	9	2	3	26
下水管路（管渠、MH：本体、蓋）+下水処理場+下水ポンプ場	6	4	2	1	2	15
合計	18	20	15	5	7	65

#### (2) 自社で対応できる施設

(1)で望ましいとお答えいただいた施設で、貴社で対応できる施設についてお聞かせください。（複数回答可）

選択肢	(2) 自社で対応できる施設					
	調査・設計	維持管理	メーカー	建設	その他	合計
下水管路（管渠、MH：本体、蓋）、マンホールポンプのみ	4	8	0	0	1	13
下水管路（管渠、MH：本体、蓋）+下水処理場	2	0	0	0	1	3
下水管路（管渠、MH：本体、蓋）+下水ポンプ場	3	0	0	0	0	3
下水処理場+下水ポンプ場	3	7	7	2	3	22
下水管路（管渠、MH：本体、蓋）+下水処理場+下水ポンプ場	4	0	0	0	1	5
合計	16	15	7	2	6	46

(3) 事業の対象として望ましくない業務及びその理由

本県の下水道事業において、今後ウォーターPPP を実施すると想定した場合に、ウォーターPPP の対象業務として望ましくないと考えられる業務についてお聞かせください。（複数回答可）

1) 望ましくない対象業務(流域下水道)

選択肢			調査・設計	維持管理	メーカー	建設	その他	合計
全体	統括管理	統括管理業務	0	0	0	0	0	0
施設 (処理場)	計画策定	更新計画案（SM）の作成	0	0	0	0	0	0
		事業計画案の作成	0	0	0	0	0	0
	維持管理	運転監視操作	0	0	0	0	0	0
		設備の保守点検	0	0	0	0	0	0
		ユーティリティ調達・管理	0	0	0	0	0	0
		水質管理	0	0	1	0	0	1
		施設の小修繕	0	0	0	0	0	0
		場内美化	0	0	0	0	0	0
		汚泥/し渣の収集・運搬・処理処分	0	2	1	0	1	4
施設 (ポンプ場、MP)	計画策定	更新計画案（SM）の作成	0	0	0	0	0	0
		事業計画案の作成	0	0	0	0	0	0
	維持管理	運転監視操作	0	0	0	0	0	0
		設備の保守点検	0	0	0	0	0	0
		ユーティリティ調達・管理	0	0	0	0	0	0
		施設の小修繕	0	0	0	0	0	0
		場内美化	0	0	0	0	0	0
		汚泥/し渣の収集・運搬・処理処分	0	2	0	0	1	3
管路	計画策定	更新計画案（SM）の作成	0	3	2	1	0	6
	維持管理	幹線管渠、MH(本体、蓋)の保守点検	0	2	2	1	0	5
		幹線管渠、MH(本体、蓋)の清掃	0	2	2	1	0	5
		幹線管渠、MH(本体、蓋)の小規模修繕等（調査時に実施）	0	2	2	1	0	5
		幹線管渠、MH(本体、蓋)の小規模改築（調査後に実施）	0	2	2	1	0	5
その他	施設情報管理	ホームページ保守	1	0	1	0	0	2
		施設台帳の整備 <sup>※1)</sup>	0	0	0	0	0	0
	事業者対応事務	継続占用協議関係業務補助	0	0	0	0	1	1
		固定資産、台帳の管理の補助業務	0	0	1	0	1	2
	緊急対応業務	異常時・緊急時の現場での対応	0	0	0	0	0	0
	災害対応	災害時の対応	1	4	2	0	1	8
	普及啓発業務	施設見学対応	2	0	0	0	0	2
		下水道体験教室・出前教室	1	0	0	0	0	1
		下水道ポスターコンクール	1	0	0	0	0	1
		技術者の教養（講師派遣等）	0	0	0	0	0	0
住民対応	苦情対応等	2	5	3	0	2	12	
合計			8	24	19	5	7	63

## 2) 望ましくない対象業務(流域関連公共下水道)

選択肢			調査・設計	維持管理	メーカー	建設	その他	合計	
全体	統括管理	統括管理業務	0	0	0	1	1	2	
施設 (MP)	計画策定	更新計画案(SM)の作成	1	0	0	1	1	3	
		事業計画案の作成	1	0	0	1	1	3	
管路	維持管理	設備の保守点検	0	0	0	1	0	1	
	計画策定	更新計画案(SM)の作成	1	2	2	1	1	7	
		維持管理	幹線管渠、MH(本体、蓋)の保守点検	0	2	2	1	0	5
		幹線管渠、MH(本体、蓋)の清掃	0	2	2	1	0	5	
	幹線管渠、MH(本体、蓋)の小規模修繕等(調査時に実施)	0	2	2	1	0	5		
その他	施設情報管理	施設台帳の整備 <sup>注1)</sup>	2	1	1	1	1	6	
合計			5	9	9	9	5	37	

## (4) 統括管理者配置方針

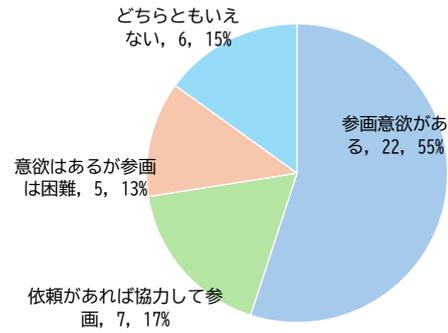
統括管理業務における統括管理者の配置方針について、お聞かせください。(複数回答可)

選択肢	調査・設計	維持管理	メーカー	建設	その他	合計
統括管理者は、本事業全体で1名の配置での管理が望ましい。	1	1	0	1	1	4
統括管理者は、複数人数の配置での管理が望ましい。	1	3	1	0	2	7
統括管理者は、統括責任者のほか、副責任者を配置すべき。	3	5	1	2	1	12
統括管理者は、流域下水道管理：1名、流域関連公共下水道管理：1名の、計2名配置での管理が望ましい。	0	0	0	1	0	1
統括管理者は、流域下水道管理：各流域1名の計4名配置し、同管理者に流域関連公共下水道の管理を兼任させる配置での管理が望ましい。	2	4	2	0	0	8
統括管理者は、流域下水道管理：各流域1名の計4名、流域関連公共下水道管理：各流域1名の計4名の計8名配置での管理が望ましい。	1	3	3	0	0	7
その他	0	6	2	0	4	12
合計	8	22	9	4	8	51

**【質問 4】対象処理区（流域下水道、流域関連公共下水道）選定について**

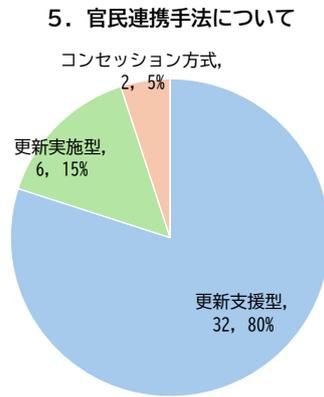
対象処理区（流域下水道、流域関連公共下水道）への参画意欲についてお聞かせください。

**4. 対象処理区（流域下水道、流域関連公共下水道）選定について**



**【質問 5】 官民連携手法について**

本事業に導入する官民連携手法案として更新支援型を検討しております。貴社で本事業におけるもっとも適当とお考えになる方式についてお聞かせください。



## 【質問6】 ウォーターPPP（レベル3.5）の4要件に関する課題・ご意見等

### (1) 長期契約（原則10年）

ウォーターPPP（レベル3.5）の4要件である「長期契約（原則10年）」について、ご意見やご提案があれば、ご記入ください。（自由記述）

- 長期契約のメリットとして、計画的な業務進行や効率化、民間の創意工夫の活用が可能となる。
- 主な懸念点として、物価変動リスク、災害リスク、社会情勢の変化、リスク分担の公平性、契約条件の不透明性などが懸念される。
- 上記の主な懸念点への対応として、柔軟な契約変更、物価スライド条項の適用、リスク分担の適正化、長期契約中の新技術導入の余地確保といった要望がある。

### (2) 性能発注（処理場・ポンプ場）

ウォーターPPP（レベル3.5）の4要件である「性能発注（処理場・ポンプ場）」について、ご意見やご提案があれば、ご記入ください。（自由記述）

- 性能発注のメリットとして、民間事業者の創意工夫や技術を活かした効率化やコスト削減、サービス向上が期待できる。
- 主な課題として、情報開示の不足、リスク分担の公平性、想定外の事態への対応、性能発注の適用範囲の明確化などである。
- 上記の主な課題への対応として、デューデリジェンス情報の開示、段階的な性能発注の導入、プロセス評価の導入、柔軟な契約内容の設定、性能発注の定義の明確化などを求める。

### (3) 性能発注（管路）

ウォーターPPP（レベル3.5）の4要件である「性能発注（管路）」について、ご意見やご提案があれば、ご記入ください。（自由記述）

- 性能発注のメリットとして、民間事業者の創意工夫や技術を活かした効率化やコスト削減が可能となる。
- 主な課題として、情報開示の不足（デューデリジェンス情報、健全度調査など）、リスク分担の公平性（外部要因や埋設物の劣化など、民間事業者がコントロールできないリスク）、指標設定の不明確さ（アウトプットとアウトカムの関係、KPIの設定など）、性能発注の実績不足と対応可能な事業者の限界等である。
- 上記の主な課題への対応としてデューデリジェンス情報の開示、段階的な性能発注の導入（初期は仕様発注、調査済み路線から性能発注へ移行）、測定可能なKPIの設定、

リスク分担の明確化と公平性の確保、柔軟な契約内容の設定、先進技術の活用による長寿命化やコスト削減、性能発注の定義の明確化等を求める。

- 管路施設の対象施設からの除外あるいは仕様規定の導入を望む。

#### (4) 維持管理と更新の一体マネジメント

ウォーターPPP（レベル3.5）の4要件である「維持管理と更新の一体マネジメント」について、ご意見やご提案があれば、ご記入ください。（自由記述）

- 効率的な運営や効果的な更新計画案の提供や、民間事業者の創意工夫やノウハウ活用による運転管理・設備投資の最適化への期待等をメリットとして考えている。
- 主な課題として、「民間事業者に過大なリスクを負わせないスキームが必要」といったリスク分担に関する事項や、設備情報や修繕履歴に対する情報不足等に対する懸念がある。
- 上記の主な課題への対応として、十分な対話期間を設けることによる更新対象施設や契約内容の明確化、汚泥処理施設再構築等の大規模事業は別途発注する方式の検討等を要望する。

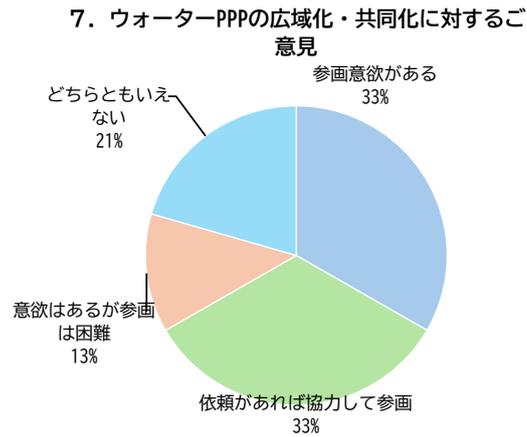
#### (5) プロフィットシェア

ウォーターPPP（レベル3.5）の4要件である「プロフィットシェア」について、ご意見やご提案があれば、ご記入ください。（自由記述）

- 民間の創意工夫や新技術導入による効率化・省人化、コスト縮減分の地域活性化や再投資への活用等が、メリットとして考えている。
- 主な課題として、固定化された比率による民間の投資リスク増大・新技術導入のインセンティブ喪失の可能性、プロフィットシェアの発動条件や評価方法が不明確、民間事業者に過大なリスクを負わせないスキームの検討、物価変動を精算する仕組みの検討といった事項がある。
- 上記の主な課題への対応として、シェア比率を固定せず都度協議で決定する柔軟なスキームの導入、プロフィットシェアの発動条件や評価方法の明確化、コスト縮減分を地域活性化や再投資に活用する仕組みの検討、ロスシェア（損失分担）の導入も併せて検討、長期契約における物価変動精算の仕組みを導入等の要望する。

**【質問 7】 ウォーターPPP の広域化・共同化に対するご意見**

当県は、流域関連市町と共同でウォーターPPP を実施することについて検討していますが、当県流域下水道と流域関連公共下水道を別々の事業としてウォーターPPP を実施する場合、関連市町で実施するウォーターPPP への参画意欲についてお聞かせください。



## 【質問 8】 その他ご意見等について

その他、本県の官民連携事業・ウォーターPPP 等に関してご意見ございましたら、以下の記入欄にご記入ください。(自由記述)

### ◆事業スキーム関連

- ・ 実施方針の公表から入札までは相応の期間(8 カ月程度)を確保してほしい。
- ・ 民間事業者が事業への参画を判断するための詳細な維持管理情報(健全度、点検結果、修繕履歴など)の開示。
- ・ 「管路」と「処理場」は、性質上、維持管理・修繕・更新の考え方が異なる。
- ・ 施設・管路を一体的に発注することによるシナジー効果は事務作業の軽減等限定的。
- ・ 事業スコープはかなり大きく、実施難易度も高いことに対して、民間企業がスケジュールを厳密に検討するための情報が限定的。

### ◆リスク分担

- ・ 民間側が負担するリスクの詳細や負担の上限の明確化。
- ・ 平常時および非常時のリスク分担については綿密な協議が必要。
- ・ ウォーターPPP 業務受託者と山梨県・各市町村及び下水道公社の所掌分担の明確化

### ◆事業費の積算

- ・ 維持管理年報をはじめ、現体制やストックマネジメント計画、改築更新計画や業務仕様書等の開示が必要。
- ・ 各業務の適正な予定価格(見積上限価格)の設定と、物価変動時の官民リスク分担の明確化。

### ◆受託機会への影響

- ・ 関連市町村からの委託業務が主要な受注源である地元企業としては、受注機会の減少につながる可能性を懸念。
- ・ 事業への参画判断のため、県として遵守すべき要件、事業者が取るべきリスク等を明確にしてほしい。

### ◆参画企業

- ・ 災害対応や苦情対応には、地元の状況をよく理解している事業者が優先して担うべき。
- ・ 県内地元業者にウエイトを置いた業務発注を希望。
- ・ 地元を含む既存業務受託企業に対して詳細ヒアリングを実施し、本事業に対する官民のギャップ抽出を実施してほしい。
- ・ 本事業の事業規模から、民間事業者のコンソーシアム組成にもかなりの時間を要する。

#### ◆広域化

- ・ 面整備の推進等の理由により、関連市町村で管路維持管理業務のレベルに差があるのではないかと。
- ・ 円滑な広域化には、一定の条件を設ける、あるいは、詳細なリスク分担の策定が必要ではないかと。
- ・ 関連市町村において維持管理を担っている管路清掃事業者・修繕事業者との合意形成やJV組成に対する懸念。
- ・ 発注方法、契約形態等に対する情報が不足している。
- ・ 流域下水道のみを対象範囲とするなど事業規模の縮小の検討が必要。

#### ◆事業化に向けた配慮

- ・ 本県で十分な実績がない方式のため、段階的な導入検討が望ましい。
- ・ ウォーターPPPの導入までには、民間企業側で十分な検討を実施し業務をスムーズに開始するための打ち合わせ時間や場を確保してほしい。
- ・ 長期契約のため、発注者と受託者の情報共有や意見交換が常時行えるシステムや場の設置が必要
- ・ 公募スケジュールについては、一定程度の余裕を持って頂くように希望

#### ◆下水道公社

- ・ 山梨県下水道公社の本事業とのかかわりについて情報提供をお願いしたい。

#### ◆ 最後に

「令和7年度 山梨県下水道施設におけるウォーターPPPの導入に向けたマーケットサウンディング（民間市場調査）」にご協力いただき、誠にありがとうございました。

本調査で皆様からいただいたご意見については、ウォーターPPPの事業実施に向け、参考とさせていただきます。

民間企業の皆さまにおかれましては、今後ともご協力の程よろしくお願いいたします。